

JIMS112 における JIMS インタラクティブセッションの開催方法

JIMS112 インタラクティブセッションは、研究大会開催形式と同様にハイブリッド開催となります。具体的には以下の方法で開催します。

1. 応募資格

- ① JIMS の会員（学生会員を含む）
- ② 非会員（一般・大学院生）・学部生

非会員大学院生および学部生は指導教員（JIMS 正会員であること）から事前に十分な研究指導を受け、報告申込みの承諾を得ることが応募の要件となります。また今回は、学部生や非会員大学院生だけでなく、非会員の一般の方も初回に限り、無料で応募、学会参加できます。

2. 報告内容

マーケティング・サイエンスに関連するテーマであれば内容や手法は問いません。完成した研究の報告だけでなく、研究を完成させるために必要なアドバイスももらうことを目的とした報告であっても構いません。また、実務家による自社のマーケティング・サイエンスの実践（事例報告）、自社の抱える課題に対するアドバイスを求める内容も大歓迎です。ただし、自社の商品やサービスの広告を目的とした報告は対象としません。

3. 報告区分と方法 → 通常と実施方法が異なりますのでご注意ください

(1) 報告区分（例年と変わりません）

報告は「学部生の部」、「大学院生（修士・博士）の部」、「一般の部」があります。

- ① 学部生の部：卒業（ゼミ）研究、学生同士の共同研究。なお、学部生が報告者（筆頭著者）であれば、指導教員や企業との共同発表（連名）も可とします。
- ② 大学院生の部：修士論文研究、博士論文研究等の発表、大学院生同士の共同研究や共同発表も可。また、大学院生が報告者（筆頭著書）であれば、指導教員や企業との共同発表（連名）も可とします。
- ③ 一般の部：研究者、実務家、会員、非会員のどなたでも発表できます。

(2) 報告・実施方法

ハイブリッド開催のため「オンサイト（対面）報告」と「オンライン報告」の2方法で実施します。

どちらの発表でも同様の審査基準で審査を行い、「JIMS ベストポスター賞」「JIMS ベストプラクティス賞」「JIMS ベストスチューデント賞」を選出します。

【オンサイト（対面）報告】

- ・研究大会の会場で実施します。
- ・報告者は模造紙 A0 版 1 枚分のポスター（発表資料）を用意してください。A0 の枠内に入るのであればレイアウトは自由です。たとえば、A4 サイズを切り張りした形式でもかまいません。

- ・上記を所定のボードに貼って、ボードの前で聴衆に説明し、質疑・コメントを受けてください。なお、オンライン発表との公平性の観点から、1 報告は 20 分(質疑応答を含む)とします。

【オンライン報告】

- ・ zoom により実施します。
- ・ 1 報告は 20 分(質疑応答を含む)スライド投影(PowerPoint 等)による個人報告スタイルで行います。
- ・ 報告者は報告要旨を学会開催前の指定期日(追って連絡します)に提出し、学会参加者に公開します。聴衆はその要旨を参照し、聴きたい報告を決めます。
- ・ なるべくチャット機能を使用して質疑応答を効率的に行えるようにします。

4. 応募方法 → 通常と実施方法が異なりますのでご注意ください

報告希望者は申込時点で「オンサイト(対面)報告」または「オンライン報告」のいずれかを選択していただきます。なお、運営の都合上、「オンライン報告」には上限を設け、その上限数を超える場合には、「オンサイト(対面)報告」に変更していただく可能性があります。

報告を希望される方は、「JIMS インタラクティブセッション報告申込書 (JIMS112 用)」(「JIMS I.S.」のページ最上部からダウンロード)を用いて、2022 年 9 月 2 日(金)お昼 12 時まで学会事務局までメール(メールの件名は「JIMS インタラクティブセッション報告申込」と明記)にて送付してください。承諾印を含む申請書については、スキャンまたは写真撮影したファイルを PDF ファイルに変換したもの(Adobe Reader 6.0 以降で開くことができ、文字が明瞭に読み取れるものに限る)を提出してください。

なお、応募者が多数の場合や自社商品等の広告が主たる目的と読み取れる場合等は、応募された報告について本学会のプログラムコミッティが事前に選考を行い、報告の可否を決定いたします。